**〇〇〇〇行政区災害時避難計画（例）**

**１　目　的**

　本計画は、風水害や地震等の災害に備え、地区住民の避難を迅速かつ的確に行うため、平時から住民（要援助者を含む）の情報の把握、災害情報の伝達手段、伝達体制の整備、避難誘導等の支援体制を確立することを目的とする。

**２　避難体制の整備方針**

（１）対象者

〇〇〇〇行政区全住民（要支援者を含む）

要支援者；他者の支援が無ければ避難することが困難な在宅者で、かつ家族等による必要な支援を受けられない者

（２）対象災害・区域

　　風水害・地震・火山噴火等全ての災害を対象とする。

　　区域は〇〇〇〇行政区全域

（３）避難体制

　　別紙１（〇〇〇〇行政区　災害時避難計画）のとおりとし、各班を中心として、災害時に全住民が町の指定する避難所へ避難する。

（４）避難体制の役割（噴火以外）

　　ア　自主避難（各自）

　　　　各情報により、自分の身に危険が及ぶと予想される場合は、自主的に町が指定する避難所へ避難しましょう。

　　イ　町から「高齢者等避難」が発令された場合は、災害時要援護者台帳に基づき、要支援者を町が指定する避難所へ避難させる。

　　ウ　町から「避難指示」が発令された場合は、未避難の要支援者及び全住民を町が指定する避難所へ避難させる。

（５）避難体制の役割（磐梯山噴火時）

　　ア　町から「避難指示」が発令された場合は、全住民を町が指定する避難所へ避難させる。

　　イ　突発的に噴火した場合で、町からの「避難指示」の発令ない場合は、基本的には車にて、会津若松か喜多方方面に避難させる。

**３　災害時要支援者の把握等**

　災害時における要支援者について、事前に別紙２（〇〇〇〇行政区　災害時要支援者台帳）を作成する。また、この台帳は必要に応じて、その都度見直しをする。

さらに、要支援者は一人での避難が困難であるため、家族・親族等の避難支援者を把握するとともに、避難支援者の手配が困難な場合は、〇〇〇〇行政区内の住民等を持って避難支援者とする。

住民（要支援者含む）が避難する際に必要な、杖・車椅子・担架等は〇〇〇〇行政区が整備することが出来る。

災害時要支援者台帳は、自主防災会長が保管し、関係者において共有する。

**５　早めの避難を行うために**

　自主避難

　　災害が発生又は、自分の身に危険が及ぶと予想される場合。

　　・自主的に避難所に避難しましょう。

高齢者等避難

　　町から警戒レベル３「高齢者等避難」が発令された場合。

・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始する。

　避難指示

町から警戒レベル４「避難指示」が発令された場合。

・速やかに避難所へ避難しましょう。

・外出することで、かえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

　緊急安全確保

　　町から警戒レベル５「緊急安全確保」が発令された場合。

　　・まだ、避難されていない人は、緊急に避難所へ避難しましょう。

　　・外出することで、かえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

　　・警戒レベル４「避難指示」まで必ず避難しましょう。

**別紙１　〇〇〇〇行政区　災害時避難計画**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | **１班** |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | |  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | **２班** |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | |  | |
| 会　長 |  |  | 副会長 |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  | **３班** |  | |  |
|  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  | |  | |
|  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  | **４班** |  | |  |
|  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | |  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | **５班** |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | |  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | **６班** |  | |  |
|  |  |  |  |  |  | 班長 |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | |  |

**別紙２　〇〇〇〇行政区　災害時要支援者台帳**

この台帳は、風水害や地震等の大規模な災害が発生した時に、地域において安否確認や避難誘導などの支援を希望される方をあらかじめ把握し、〇〇〇〇行政区自主防災組織により、災害時の安否確認や支援活動を迅速に行うため、平常時からの事前対策の検討などに活用させていただきます。

* 本台帳は、事前に「別紙３災害時要援護者台帳登録同意書」により、本人の承諾を得て作成するものとする。
* 支援者の多くが、被災者になりうる事から、災害時の支援が必ずしも約束されるものではないことも併せて、本人に伝える必要がある。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | | |
| 氏　　名 |  | | |
| 住　　所 | 磐梯町大字　　　　字 | | |
| 電話番号 |  | 生年月日 |  |
| 緊急連絡先 |  | 氏名・関係 |  |
| 緊急連絡先 |  | 氏名・関係 |  |
| 支援が必要な理由（該当するものに〇印を付けてください。  　・独居高齢　　・ねたきり　　・高齢世帯　　・身体障害　　・知的障害  　・精神障害　　・聴覚障害　　・難病　　　　・外国人  　・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 災害時に、特に知っておいてほしいことや、気をつけてほしいことを記入  　・  　・ | | | |
| 避難時に必要なもの（該当するものに〇印を付けてください。  　・杖　・車椅子　・担架　・お薬手帳　・その他（　　　　　　　　　　）  その他必要なものを記入  　・  　・  　・  避難支援者  　氏　名　　　　　　　　　　　関係　　　電話番号  　氏　名　　　　　　　　　　　関係　　　電話番号  　氏　名　　　　　　　　　　　関係　　　電話番号 | | | |

**別紙３　災害時要援護者台帳登録同意書**

令和　　年　　月　　日

〇〇〇〇行政区自主防災組織

　　　　会長　　　　　　　　様

　私は、災害時要援護者支援制度(※1)の趣旨に賛同し、同制度（災害時要援護者台帳）に登録することに同意いたします。

　また、私が届け出た個人情報は、関係機関（自主防災組織、町関係、社会福祉協議会、避難支援者、行政区長、民生児童委員、消防関係）で共有することに同意いたします。

※1災害時要援護者支援制度

災害時に自力で避難することが困難な方「災害時要援護者」対象者のうち、個人情報提供に同意された方の情報を、地域自主防災組織に提供することで、実際に災害が起きた時、地域の中で安否確認や情報提供などの支援が受けられるようにするための制度です。

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

代理人　　　　　　　　　　　　　　　　　印